

ライブからイベントまで幅広い用途に適したプロ向けのスピーカー群を発売  
ヤマハ パワードスピーカー『DXR mk3 シリーズ』  
スピーカーシステム『CXR mk3 シリーズ』  
パワードサブウーファー『DXS mk3 シリーズ』  
サブウーファー『CXS mk3 シリーズ』

ヤマハ株式会社（以下、当社）は、プロフェッショナルオーディオ機器の新製品として、ライブやイベントなど幅広い用途や規模で使えるパワードスピーカー『DXR mk3 シリーズ』とパワードサブウーファー『DXS mk3 シリーズ』、およびパッシブモデルのスピーカーシステム『CXR mk3 シリーズ』とサブウーファー『CXS mk3 シリーズ』を2026年6月に発売します。



『DXR mk3 シリーズ』 『CXR mk3 シリーズ』（左）、『DXS mk3 シリーズ』 『CXS mk3 シリーズ』（右）  
※ 『DXR mk3 シリーズ』と『CXR mk3 シリーズ』、『DXS mk3 シリーズ』と『CXS mk3 シリーズ』の外観は同一仕様

当社では、パワフルな高音質を軽量化されたボディに凝縮したライブ・イベント PA 用のパワードスピーカーとして「DXR mk2 シリーズ」を展開しています。

今回発売する『DXR mk3 シリーズ』は、「DXR mk2 シリーズ」で高い評価を得た、音響性能・機能性・出力をアップグレードしたモデルで、スピーカーユニットのサイズごとに『DXR15 mk3』 『DXR12 mk3』 『DXR10 mk3』の3モデルをラインアップしました。ヤマハ内製の高耐久 LF(低域)/HF(高域)スピーカーユニットを搭載し、大口径ホーンを採用することで幅広い周波数帯域での指向性制御能力を確保しています。また、ポートポジションの最適化により定在波影響を低減し、よりスムーズで正確な低域特性を実現しました。さらに、視認性が高く操作しやすいLCDパネルや、低歪でクリアなサウンドを実現する高性能DSPも備えています。今回は、スピーカーユニットとエンクロージャーを『DXR mk3 シリーズ』と同仕様としたパッシブスピーカー『CXR mk3 シリーズ』3モデルを新たにラインアップしています。

『DXS mk3 シリーズ』は、『DXR mk3 シリーズ』との組み合わせに最適なパワードサブウーファーです。こちらにもパッシブサブウーファー『CXS mk3 シリーズ』を用意しました。いずれも、耐久性の高いスピーカーユニットと、耐傷性・耐久性に優れたエンクロージャーを採用し、各3モデルをラインアップしています。

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン プロオーディオ・インフォメーションセンター

[https://jp.yamaha.com/support/contacts/av\\_pa/](https://jp.yamaha.com/support/contacts/av_pa/)（Webフォームよりお問い合わせが可能です）

モデル名	品番	価格	発売時期
パワー スピーカー	DXR15 mk3	オープンブライス	2026年6月予定
	DXR12 mk3	オープンブライス	
	DXR10 mk3	オープンブライス	
スピーカーシステム	CXR15 mk3	オープンブライス	
	CXR12 mk3	オープンブライス	
	CXR10 mk3	オープンブライス	
パワー サブウーファー	DXS18 mk3	オープンブライス	
	DXS15 mk3	オープンブライス	
	DXS12 mk3	オープンブライス	
サブウーファー	CXS18 mk3	オープンブライス	
	CXS15 mk3	オープンブライス	
	CXS12 mk3	オープンブライス	

## <主な特長>

### 1. 独自の高耐久性 LF/HF スピーカーユニット

耐久性に優れた独自の LF(低域)/HF(高域)スピーカーユニットを搭載。LFユニットは、リニアな低音再生を実現するために前後方向への高い対称性を確保し、ポートの位置を最適化することで定在波の影響を低減させ、より精確な低音域の応答を実現しています。HFユニットは、可聴帯域内の歪みを除去しつつ卓越した耐久性を実現するポリイミド製ダイアフラムを採用しました。また、大口径ホーンにより、広い周波数帯域で指向性を制御可能です。



### 2. 軽量かつ高強度のエンクロージャー

軽量かつ高強度の発泡成形エンクロージャーを採用することで、軽量化と低域ロスの原因となるキャビネットの“鳴き”低減を両立させました。人間工学に基づいて設計されたエンクロージャーは、見た目の美しさだけでなく、優れた使いやすさも兼ね備えています。



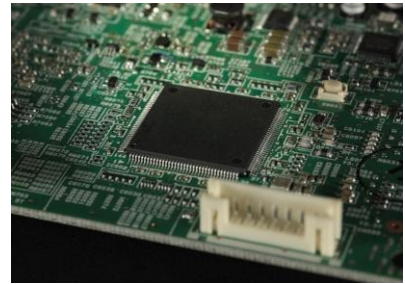
### 3. 視認性が高く操作しやすい LCD パネル（『DXR mk3 シリーズ』）

背面に LCD パネルを搭載し、プリセットの読み込みや精確な PEQ 調整、ディレイやルーティングなどのパラメーターをすばやく簡単に操作できます。ユーザープリセットは最大 8 つ保存できるほか、『DXS mk3 シリーズ』との併用時に最適なファクトリープリセットも呼び出すことが可能です。



#### 4. 高度な信号処理を実現する高性能 DSP (『DXR mk3 シリーズ』)

対応サンプリング周波数 96 kHz の DSP プロセッサを搭載し、低遅延でありながら、高い出力性能と高解像度の音質を実現します。クロスオーバーには、ネットワークと補正 EQ のリニアフェイズ FIR フィルターを組み合わせた独自の「Advanced FIR-X Tuning」を採用し、極めて滑らかな位相特性による位相歪みのないクリアなサウンドを実現しています。



#### 5. 2,000W 出力の高効率クラス D アンプユニット (『DXR mk3 シリーズ』)

新開発の高効率な 2,000W クラス D ハイパワーアンプを搭載。新設計の高効率スイッチング電源により、スムーズかつ安定した動作を実現します。



#### 6. ヤマハ製パワーアンプとの組み合わせで性能を最大限発揮 (『CXR mk3 シリーズ』)

ヤマハ製パワーアンプ「PX シリーズ\*」および「PC-D シリーズ」、または互換性のあるシグナルプロセッサと組み合わせることで、専用チューニングのプリセットにより、その性能を最大限に活用できます。

\*対応ファームウェア：Ver 1.66 以降



#### 7. 各スピーカーに最適なパワード/パッシブサブウーファー

『DXS mk3 シリーズ』は 96kHz 対応の高性能 DSP や背面の LCD パネルが『DXR mk3 シリーズ』と共通のパワードサブウーファーです。新開発の高効率 2,500W クラス D アンプと専用に設計された独自のロングエクスカーション・スピーカーユニットを搭載。18 インチモデルは 4 インチのボイスコイルを、15 インチおよび 12 インチモデルは 3 インチのボイスコイルを採用し、高い耐久性を確保しました。これらを、耐傷・耐久性に優れたポリウレタンコーティング塗装を施したエンクロージャーに収めました。

『CXS mk3 シリーズ』はスピーカーユニットとエンクロージャーが『DXS mk3 シリーズ』と同仕様のパッシブサブウーファーです。

#### 8. その他

- ・特定の構成や用途に自動的に最適化する DSP モードによるセットアップの簡素化 (『DXR mk3 シリーズ』)
- ・マイクからの不快なフィードバックを低減する「インテリジェントフィードバックサブレッサー」 (『DXR mk3 シリーズ』)
- ・専用のリモートコントロールアプリ「D-Remote」 (『DXR mk3 シリーズ』 『DXS mk3 シリーズ』)
- ・低歪かつ高品質な低音域を実現する「Drive Motion Calibration」 (『DXR mk3 シリーズ』)
- ・ラバーコーティングされたハンドル (『DXR mk3 シリーズ』 『CXR mk3 シリーズ』 『DXS mk3 シリーズ』 『CXS mk3 シリーズ』)
- ・市販のアイボルトに対応したリギングポイント (『DXR mk3 シリーズ』 『CXR mk3 シリーズ』)
- ・水平 0 度および 7 度ダウンアングルポジションを用意したポールマウントソケット (『DXR mk3 シリーズ』 『CXR mk3 シリーズ』)
- ・2Way ハンドルとデュアル M20/35 mm ポールソケット (『DXS mk3 シリーズ』 『CXS mk3 シリーズ』)
- ・オプション品のスピーカー用キャスターおよびカバー (『DXS mk3 シリーズ』 『CXS mk3 シリーズ』)

<オプション品>

モデル名	品番	価格	発売時期
スピーカーブラケット	UB-DXR15A	オープンプライス	2026年6月予定
	UB-DXRDR12A	オープンプライス	
	UB-DXRDR10A	オープンプライス	
多機能スピーカーカバー	SPCVR-DXR153	オープンプライス	2026年8月予定
	SPCVR-DXR123	オープンプライス	
	SPCVR-DXR103	オープンプライス	
多機能スピーカーカバー (サブウーファー専用)	SPCVR-DXS183	オープンプライス	
	SPCVR-DXS153	オープンプライス	
	SPCVR-DXS123	オープンプライス	
キャスター (サブウーファー専用)	SPW-1	オープンプライス	既発売

詳しい仕様は下記製品ページをご覧ください。

『DXR mk3 シリーズ』 [https://jp.yamaha.com/products/proaudio/speakers/dxr\\_mk3/index.html](https://jp.yamaha.com/products/proaudio/speakers/dxr_mk3/index.html)

『CXR mk3 シリーズ』 [https://jp.yamaha.com/products/proaudio/speakers/cxr\\_mk3/index.html](https://jp.yamaha.com/products/proaudio/speakers/cxr_mk3/index.html)

『DXS mk3 シリーズ』 [https://jp.yamaha.com/products/proaudio/speakers/dxs\\_mk3/index.html](https://jp.yamaha.com/products/proaudio/speakers/dxs_mk3/index.html)

『CXS mk3 シリーズ』 [https://jp.yamaha.com/products/proaudio/speakers/cxs\\_mk3/index.html](https://jp.yamaha.com/products/proaudio/speakers/cxs_mk3/index.html)

\*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

\*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：佐藤 圭 TEL 050-3148-8660

ウェブサイト [https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/)

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン プロオーディオ・インフォメーションセンター

[https://jp.yamaha.com/support/contacts/av\\_pa/](https://jp.yamaha.com/support/contacts/av_pa/) (Web フォームよりお問い合わせが可能です)